日野 多摩 稲城 地区保護司会だより

発行　日野・多摩・稲城地区保護司会
編集　広報部

会長就任にあたって

日野・多摩・稲城地区保護司会　会長　佐伯　進

平成23年度定期総会において、馬場三栄子前会長の後を受けて会長に選任されました。

もとより浅学非才の私にとりまして身に余る大役でありますが、会員の皆様や日野・多摩・稲城市当局の方々を始め更生保護関係者の皆さんのご指導・ご支援を頂きながら、重責を務められるよう努力を重ねていく所存ですのでどうぞよろしくお願いします。

会の運営にあたりましては、会員の皆さんの声をしっかり受け止め、より開かれた会の運営、和と活力を重視した運営を柱に、そして、三市にわたっての保護司会であることを常に認識して取り組んでまいりたいと存じます。

日野・多摩・稲城地区保護司会は、平成11年度に、南多摩東保護司会から名称を変更し今日に至っていますが、この間、歴代会長の下で発展・充実を遂げてまいりました。特に馬場前会長の下での充実は目覚ましく、日野市当局の協力を得ながら、「更生保護サポートセンター」の開設を始めとして「保護司候補者検討協議会」を二市に設置しました。

こうした先代会長の功績を汚すことなく一歩でも前進できるよう努めることが私に与えられた大きな課題であります。

終わりに、会員の皆さんにはご支援ご協力を一層賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

平成23年度 定期総会開催

期 日 4月25日（月）
場 所 サポートセンター百草台

退任される山田さんと会長退任の馬場さんを中心に

澄み切った青空の下、サポートセンター百草台にて定期総会が開催されました。

出席者は来賓を含め67名、司会は粟井副会長、佐伯副会長の開会の言葉、馬場会長の挨拶に続き来賓の紹介、東日本大震災にて物故された保護司の方々への黙祷をしました。

議長に日野分区・中嶋ヒロ子氏を選出、議事は全て順調に進行し全会一致で承認されました。土方総務部長より会則・内規の一部改正の報告をもって議事を終了しました。

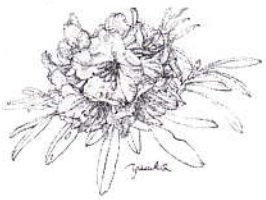
ご来賓

東京保護観察所立川支部　支部長	古田　康輔 様
多摩地区保護司会連絡協議会会長	小澤　文世 様
日野市長	馬場　弘融 様
多摩市長	阿部　裕行 様
稲城市長代理（生活福祉課長）	山田　　弘 様
日野警察署少年係長	鈴木　義巳 様
多摩中央警察署少年係長	上村　知覚 様

●馬場三栄子会長に労をねぎらう花束

4年間、会長職の重責を担って来られた馬場会長に佐伯新会長より花束が贈呈されました。新役員紹介後、佐伯新会長より活力と和を生かし、サポートセンターを中心にした運営をしていきたいとの挨拶がありました。

来賓の祝辞をいただき、最後に本年9月に任期満了退任される多摩分区・山田喜一氏に佐伯新会長より記念品・花束の贈呈がありました。山田氏より保護司として過ごされた思い出を交えた挨拶をいただきました。最後に安西副会長の閉会の言葉で総会は終へ、その後全員で記念撮影をして散会となりました。



平成23年度 役員（理事）・専門部・分区構成

平成23年6月1日現在

●顧 問：馬場三栄子
●会 長：佐伯　　進
●副会長：土方喜久弘／伊野　光雄／粟井　洋子
●監 事：石坂　齊雅／安西　清

●専門部（会員数：72人）

	総務部22人	研修部15人	地活部20人	広報部15人
顧　問	馬場三栄子			
会　長	佐伯　　進		=社会参加活動委員=	
副会長	土方喜久弘（日野分区長兼務）		大須賀良子（日野副分区長）	
〃	伊野　光雄（多摩分区長兼務）		土谷　縷美（多摩副分区長）	
〃	粟井　洋子（稲城分区長兼務）		糀谷　信之（稲城副分区長）	
監　事	石坂齊雅			
〃	安西　　清			
センター長	土方三男（本会計補兼務）			
本会計	西川　　毅			
部　長	中村　洋一	松原　一郎	紀　　初子	澤田　研二
副部長	松本ちづ子	沼　　裕子	大澤　春雄	小池　勝造
書　記	北畠　一誠	水野　京子	谷　　和彦	荻原　豊子
会　計	河内　惠子（本会計補）	横田　定利	芦川　正雄	萩原　実夫
部　員	石川ちづ子（日野分区書記）	入江マリ子	藤森　光子	津守　弘範
	戸丸　久惠（日野分区会計）	関口美恵子	中村登代子	寺沼　恭子
	青木　智子（多摩分区書記）	佐々木眞一	大沢　正男	宇野有斐子
	三枝　玲子（多摩分区会計）	貴志　義孝	中嶋ヒロ子	久保田哲夫
	篠崎　誠一（稲城分区書記）	門井八重子	小島　淳子	福島　幹男
	原田　正美（稲城分区会計）	杉江　利行	山田　喜一	古平　順一
		角田　政信	清水　和男	尾嵜　義昭
	馬場　弘融（日野市長）	岡本佐知子	會田　洋子	塩沢　京子
	阿部　裕行（多摩市長）	馬場　房義	大石　靖子	鹿島　正二
	石川　良一（前稲城市長）	髙木　伸二	坂井　厚彦	唐木　洋子
		川井　博之	川島　保之	近藤　一美
			松浦　　昇	
			大山　和子	

●サポートセンター企画調整保護司（7人）

土方　三男（センター長）　西川　　毅（本会計）　中村　洋一（総務部長）　松本ちづ子（総務副部長）
北畠　一誠（総務書記）　河内　惠子（総務会計）　澤田　研二（広報部長）

●分　区

会員数	分区長	副分区長	書　記	会　計	会計監査
日野分区28人	土方喜久弘	大須賀良子	石川ちづ子	戸丸　久惠	中嶋ヒロ子
多摩分区24人	伊野　光雄	土谷　縷美	青木　智子	三枝　玲子	寺沼　恭子
稲城分区20人	粟井　洋子	糀谷　信之	篠崎　誠一	原田　正美	藤森　光子

各分区の活動と社会を明るくする運動

今年度の予定

日野分区　分区長　土方喜久弘

3月11日の東日本大震災で被災された方々そしてその関係者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。安西前分区長の早々の発案で義援金のための駅頭募金活動を実施。今後も引き続きできる事をやっていくことにしました。

また、保護司自主研修を年4回、視察研修を１回実施予定。１回目は、日野警察署少年係長の鈴木義巳氏による「犯罪傾向と青少年の対処について」のテーマで実施。近年の少年非行の特徴は小学生等による窃盗（万引き）の増加傾向。対策として少年の立ち直り支援活動は警察署・観察所・保護司・少年の保護者と学校や地域の方々との連携が必要と思います。

●「社会を明るくする運動」について

７月９日（土）日野市立日野第四中学校体育館に於いて、「第61回ふれあいステージ」を開催いたします。内容として22年度作文コンクールで受賞された「作文朗読（市立日野第四小学校６年）阿部若菜さん（現在は市立三沢中学校１年）」、「市立日野第六小学校の合奏」「市立滝合小学校の金管バンド」「市立旭が丘小学校の合唱」「市立日野第四中学校の吹奏楽」を予定しています。

多摩分区　分区長　伊野　光雄

分区の活動については、年４回の分区会に併せ自主研修を行います。

また、10月には一泊の予定で施設研修を計画中です。今後、関係先との調整を重ね具体化していきます。時代とともに施設も内容も少しずつ変革しているようなので研修してまいります。

●「社会を明るくする運動」について

第61回「社会を明るくする運動」の啓発パレード（7月18日・海の日）も21回目を迎えることになりました。今回は二つの目標を掲げることにしました。

１．啓発パレードの充実強化
２．啓発活動の強化

一つは、皆様の理解と協力により回を重ねるごとに団体・参加者数も増えて参りました。そのような中にあって、次代を担う子供たちの参加が多く望まれるところであります。教育委員会始め学校長にも今まで以上の協力をお願いしていく所存です。

二つ目は、「社会を明るくする運動」強調月間を有効に利用し、新たな団体等に働きかけ多くの市民に「社会を明るくする運動」の趣旨を理解していただくため、例年より多くのポスターを発注して掲示します。

稲城分区　分区長　粟井　洋子

毎年、総会のシーズンになると、新年度の活動目標の新芽が数多く芽吹く、どの新芽の枝葉を成長させるか、分区全体で選んで実らせる。その成果に満足しつつ、次はまたそれ以上の目標を立て、進もうと考えています。

そこで稲城分区は、「青年層への啓発活動をより活発化させ、特に感性が一番不安定な中学生への啓発を、身近なところで各自に説く努力をする」とします。分区としての基本は、保護司間の信頼、研修の在り方はもちろん親睦も大事にしています。分区会後の研修、その後のフリートーク、９月のバーベキュー、11月の研修旅行等仲間意識を持ち全員で向上をめざしています。

●「社会を明るくする運動」について

稲城市は、７月１日を初日とし８月31日までを社明の強調月間と位置づけし、駅頭広報・盆踊り・夏祭り等々を通して啓発活動を展開します。今年は新たに１駅増やし、市内のＪＲ・私鉄各３駅・バス停と読売巨人軍球場での広報活動となります。中学生・諸団体で総勢300名を超える模様です。中学生全員による折鶴も好評で、読売巨人軍・東京ヴェルディーの選手たちが、花を添え盛り上げてくださることと思います。

サポートセンター百草台 “千客万来”

平成22年度は、サポートセンター百草台が地区保護司会の活動の拠点となるための基盤づくりの年になったと言えます。特徴的な活動内容を紹介します。

(1) 研修会と諸会議の利用の拡大（会議室と資料室の利用回数：延117回、利用人数：1,308人）。

(2) ①パソコンやファックスの情報機器を利用しての開催通知等の送信・受信（件数:100件、対象保護司の人数:1,983人）。
②開催通知等を発送していた各専門部と分区の書記の事務作業の軽減。
③電話回線でのファックス機使用による郵券代、用紙代等の経費削減。

(3) 活動記録等の保管と開示（クリアファイル：13冊）

以上が当地区保護司会としての特徴になりつつあるサポートセンターであります。

これからもサポートセンターの存在が、保護司会だけではなく、地域にも信頼され、頼りにされる施設になれるように、会長を中心に企画調整保護司（７名）が一丸となって頑張って行きたいと考えています。

新任保護司紹介

ご活躍を期待します

平成23年５月15日委嘱

大山　和子
（日野分区）地活部

保護司になって

多摩分区　近藤　一美

私が保護司という立場の方を知ったのは、青少協の地区定例会でした。時には厳しく親や家庭の在り方を教えていただきました。

今、我身を返り見て、先輩の皆様の足下にも及ばないと思いますが少しでも社会に役立つ自分でありたいと願っています。皆様のご指導をいただきながら、日々研鑽、努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

多摩分区　川井　博之

私は、昨年12月に保護司の委嘱を受けました。今まで刑事として被疑者と接したり、拘置所での取調べも経験しました。今後は保護司の立場として対象者の立ち直り、地域犯罪予防活動にと、微力ですが力を尽くし努力していく所存です。まだ新任で分からない事が多いところもありますので、担当観察官、先輩保護司の方々のご指導をお願いいたします。

表紙写真の説明

稲城市では従来の路線バスに加えて、平成14年４月からコミュニティバスの運行を開始しています。愛称「i（あい）バス」の由来は公募により、稲城市（ｉｎａｇｉ）の頭文字であるｉから、愛バス、逢いバスなどの意味をこめて命名されました。

現在、駅・市役所・市立病院・総合体育館などの公共施設を結ぶ４路線が運行されています。

広報部員

部　長　澤田　研二　　書　記　荻原　豊子
副部長　小池　勝造　　会　計　萩原　実夫
津守　弘範　寺沼　恭子　宇野有斐子　久保田哲夫
福島　幹男　古平　順一　尾嵜　義昭　塩沢　京子
鹿島　正二　唐木　洋子　近藤　一美

編集後記

役員改選期を迎えた平成23年度定期総会を終え、新体制の下で各部とも活動を開始。広報部も半数の部員に異動がありましたが、新旧部員の和を基に自由闊達な雰囲気のなか、知恵と感性を活かしいっそう魅力ある情報を内外に発信できるよう努めていきます。

今年度の広報誌は通年のカバー写真に人をつなぐ足となり地域で活躍しているミニバスを載せ、まず会報34号を発行しました。（広報部）

日野市百草999番地　042-593-0950